

地域連携ICカード 導入について

令和5年3月27日

長野市公共交通活性化・再生協議会

① 業者選定方法について

地域連携ICカードを手掛けられる事業者は2社



入札 または プロポーザル

	入札	プロポーザル
決め方	最も安い価格で入札した者が落札	提案価格と内容を総合的に勘案し、優先交渉権者を選定
メリット	経費を圧縮できる	提案内容を元に交渉できるため、要望を反映した契約を締結できる
デメリット	入札項目以外の内容を契約に入れることはできない	評価項目や視点の基準を明確にしないと透明性や公平性の確保が困難

① 業者選定方法について

選定方法はプロポーザルとしたい

導入に当たり 長野地域の特殊事情がある

- ・ハウスカードからの乗り換え
- ・短期間で高齢者用カードを発行
- ・協議会が事業者間の精算を実施

特殊事情を考慮した提案が必要

- ・カードの切り替えを踏まえたスケジュール管理
- ・現行のKURURUに準じた仕組みの構築
- ・精算方法の簡略化など

① 業者選定方法について

選定スケジュール (案)

	2023年(令和5年)									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
長野市公共交通活性化・再生協議会		●(下旬)						●		
ICカードシステム運営委員会		●(提案依頼書)								
提案依頼			●(上旬)							
質問期間										
提出期限				●(下旬)						
提案プレゼンテーション・決定				●(上旬)						
事業者契約						●(国・県補助交付決定後)				

- 5月末を目途に提案依頼書を作成
 作成メンバー：アルピコ交通、長電バス、長野市
 (交通政策課・高齢者活躍支援課)
- 6月に提案依頼、7月にプレゼンテーション、決定

② カード名称・デザインについて

KURURUの名称由来（平成23年12月20日決定）

長野市バス共通ICカードであり、目の前にやって来るすべてのバスに乗車することができることから、多くの人々に親しまれますように願ったもの

名称は公募（募集期間：平成23年11月22日～12月12日）、応募総数406点

選定方法

- ① 「親しみやすさ」、「覚えやすさ」、「長野らしさ」の3点を基準にICカード運営委員会委員による予備審査を実施
- ② 12月19日にICカード運営委員会を開催し、予備審査を経た作品36点を審査、最優秀賞候補1点と優秀賞候補3点と次点3点を選定
- ③ 12月20日の長野市公共交通活性化・再生協議会で名称を決定

② カード名称・デザインについて

名称決定後、ICカード購入会社に制作を依頼。平成24年2月8日の協議会でデザイン決定

※名称「くるる」「KURURU」は平成23年12月に商標登録出願、24年8月に登録済

KURURU
IC card くるる

共通ロゴ

「くるる」という、かわいらしい音を文字で表現

最初の「U」は赤色でコントラストを付け、二人の人間が向かい合っている様子をデザイン



一般カード

長野市を象徴する緑豊かな「山」と澄んだ「青空」をイメージし、さわやかな印象をデザイン



高齢者カード（長野市おでかけパスポート）

ピンク色をベース色に、花びらが風に吹かれて揺れている様子を表現し、優しく親しみやすい印象のデザイン。ロゴ「IC CARD NAGANO」という背景の文字及びカード下部の白いラインを、一般カードのデザインと共通性を持たせた

② カード名称・デザインについて

想定スケジュール

	2023年(令和5年)										2024年(令和6年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
長野市公共交通活性化・再生協議会		●(下旬)							●(カードデザイン・名称決定)				
ICカードシステム運営委員会	●(名称・カードデザインの検討)												
地域連携ICカード導入広報				●(HP、バス車内広告など)							●(広報2月号)		
ラッピングバス									●(バスデザイン・制作)			●(運行)	

- ICカードシステム運営委員会で名称、カードデザインを検討し、令和5年11月頃までに協議会で決定
- 令和6年3月頃から広報のためのラッピングバスを運行
- 地域連携ICカードの導入については、ICカードの交換が必要なため、バス車内広告やHP等で早めに周知
- 令和7年春を目途にサービス開始（予定）